



このマニュアルについて

- [このガイドは VCS 非適用 \(1 ページ\)](#)
- [変更履歴 \(1 ページ\)](#)
- [関連資料 \(6 ページ\)](#)

このガイドは VCS 非適用

ソフトウェアバージョン X12.5 以降の新機能は、Cisco TelePresence Video Communication Server 製品 (VCS) ではサポートされません。これらの新機能は Cisco Expressway シリーズ製品 (Expressway) にのみ適用されます。このソフトウェアバージョンはメンテナンスおよびバグ修正のみを目的として VCS に用意されています。

変更履歴

表 1: 仮想マシン設置ガイドの変更履歴の *Cisco Expressway*

日付	変更内容	理由
2024 年 5 月	X15.0.2 リリース用に更新。 「ESXi の要件」および「制限事項」セクションを更新。	X15.0.2 リリース
2023 年 12 月	X15.0 リリース用に更新。	X15.0 リリース

日付	変更内容	理由
2023年5月	X14.3 リリース用に更新。 「ESXiの要件」セクションを更新し、スクリーンショットをダガーの記号に置き換え、シスコの標準に合わせて繰り返された見出しと調整されたガイドを削除し、ガイドを刷新しました。	X14.3 リリース
2022年6月	X14.2 リリース用に更新。 いくつかのCDETSを修正しました。	X14.2 リリース
2021年7月	X14.0.2 リリース用に更新。 「VM ゲスト (vCenter) の構成」セクションを更新しました。	X14.0.2 リリース
2021年6月	X14.0.1 リリース用に更新。 いくつかのCDETSを修正しました。	X14.0.1 リリース
2021年4月	X14.0 リリース用に更新。 新しいポートが導入されたため、「vCenterによって管理されるホストへのOVAの展開 (Deploying OVA to Host Managed by vCenter)」セクションのスクリーンショットを置き換えました。	X14.0 リリース
2020年12月	「仮想マシンのインストール」の章に「展開プロセスの自動化」セクションを追加しました。また、「vCenterが管理するホストへのOVA展開」および「ESXiの要件」のセクションを更新しました。	X12.7 リリース

日付	変更内容	理由
2020年7月	X12.6.1用に更新。「システム要件」の章に「ExpresswayVMのキャパシティを増やす方法」セクションを追加しました。また、「Expressway VMのアップグレードまたはダウングレード」セクションを更新しました。	X12.6.1
2020年6月	第3章「システム要件」に新しいセクション「ExpresswayVMのキャパシティを変更する方法」を追加しました。また、「Expressway VMのアップグレードまたはダウングレード」セクションを変更しました。	ドキュメントの訂正
2020年6月	X12.6リリース。また、古いコンテンツを削除し、ステップを再配置/変更することにより、第5章を変更しました。	X 12.6
2019年7月	X12.5.4用に更新。X8.6.x以降のソフトウェア上のシステムを12.5.4以降にアップグレードする必要がないため、リリースキーへの参照を削除しました。 大規模VMの予約済みCPUリソースを明確にしました。	X12.5.4
2019年5月	仮想マシン名、ホスト名、およびドメイン名にはASCII文字のみを含める必要があることを明確にしました。	明記
2019年4月	小規模VMはBE6000プラットフォーム専用であり、現在はVMware ESXiプラットフォームでもサポートされている（BE6000と同じ最小ハードウェア仕様に従う）という警告を削除しました。	更新

日付	変更内容	理由
2019年1月	X12.5用に更新	X12.5
2018年9月	X8.11が使用できなくなったため、ソフトウェアバージョンをX8.11からX8.11.1に変更しました。	ソフトウェアの取り消し。
2018年8月	VMのMACアドレスを変更しない要件を追加しました（仮想Expresswayのシリアル番号はアドレスに基づく）。	明記
2018年8月	出荷時設定へのリセットプロセスに関するVMコンソールの要件を明確にしました。	明記
2018年7月	Cisco ExpresswayとCisco VCSの両方をカバーする単一のバリエーションとして再公開しました。	ドキュメントの変更履歴
2018年5月	推奨プラットフォームセクションを改訂し、Flashbasedクライアントが必要になる場合があることを明確にしました（バージョンによって異なります）。	明記
2017年11月	VMware vSphereクライアントの可用性に関する推奨プラットフォームのセクションを更新しました。	明記
2017年8月	ESXi 6.5のサポートを追加しました。	検証の完了
2017年7月	大規模システムでの10GbNIC要件を削除しました。ESXi 5.0およびESXi 5.1のサポートを削除しました。その他のマイナーなドキュメントの変更	X8.10アップデート

日付	変更内容	理由
2017年1月	インストールウィザードでサポートされていないSSHキーメッセージに関連するバグ修正を含むように更新しました。ウィザードには、参照用にシリアルキーとリリースキーが表示されるようになりました。[名前と場所 (Name and Location)]フィールドでのバックスラッシュまたはスラッシュの使用に関する注意を追加しました。	X8.9.1 アップデート
2016年12月	新しいセキュアインストールウィザード機能を追加しました。	X8.9 アップデート
2016年6月	大規模 OVA の CPU 予約を少なくしました。VMware HA および VMware スナップショットのサポートの欠如について言及しました。	X8.8 アップデート
2016年2月	X8.7.1 用に更新。	ハイブリッドサービスに追加されたアップグレードの前提条件
2015年11月	X8.7 用に更新。ESXi 6.0 のサポートを追加しました。仮想ハードウェアバージョンを7から8に変更しました。	
2015年7月	X8.6 用に再発行。	
2014年12月	X8.5 用に再発行	
2014年8月	UCS に対する RAID 5 の紛らわしい前提条件を削除しました。	
2014年6月	X8.2 用に再発行	
2013年12月	本ドキュメントの Expressway バリエーションに関する初版	X8.1 リリース

関連資料

次のドキュメントは、環境設定に役立つ場合があります。

- [Expressway 基本設定 \(Expressway-C と Expressway-E\) 導入ガイド](#)
- [Expressway クラスタ作成およびメンテナンス導入ガイド](#)
- [Expressway を使用した証明書の作成と利用の導入ガイド](#)
- [Cisco Expressway シリーズ設定ガイドページの「Cisco Expressway IP ポート使用構成ガイド」](#)
- [Expressway 管理者ガイド](#)
- 『[Cisco Unified Communications Manager 設定ガイド](#)』の「[Cisco Unified Communications Manager](#)での *IM and Presence Service* の構成と管理」
- 「[シスコ コラボレーション システム 10.x Solution Reference Network Designs \(SRND\)](#)」ドキュメントの「[ディレクトリ統合とアイデンティティ管理](#)」章
- 『[Cisco Unified Communications Manager メンテナンスおよび運用ガイド](#)』の「[Cisco Unified Communications](#) アプリケーション向け *SAML SSO* 導入ガイド」
- Jabber クライアント構成詳細
 - [Windows 版 Cisco Jabber](#)
 - [iPad 版 Cisco Jabber](#)
 - [Android 版 Cisco Jabber](#)
 - [Mac 版 Cisco Jabber](#)

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。